

令和6年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

[電子オルガンコース]

到達指標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

(1) 幅広い音楽的知識を身につけ、音楽への理解を深めることができる。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。

(1) 音楽的素養をもとに思考・判断・想像力をもって表現することができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

(1) 音楽活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力を身につけることができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

(1) 自己の感性と人間性を養い、音楽と人や生活、社会とのつながりに関心を持って意欲的に取り組むことができる。

① [知識・理解]	② [思考・判断・表現]	③ [技能]	④ [関心・意欲・態度]
-----------	--------------	--------	--------------

1年次						2年次							
科目	期	科目名	①	②	③	④	科目	期	科目名	①	②	③	④
専門科目	前期	電子オルガンⅠ	○	◎	◎	○	前期	電子オルガンⅢ	電子オルガンⅢ	/	/	/	/
		電子オルガンキャリア実践Ⅰ	○	◎	◎	○			電子オルガンキャリア実践Ⅲ	/	/	/	/
		電子オルガン応用実践Ⅰ	◎	◎	○	○			電子オルガン応用実践Ⅲ	/	/	/	/
		ピアノ演習Ⅰ	○	◎	◎	○			ピアノ演習Ⅲ	/	/	/	/
		和声法Ⅰ	◎	○	○	△			P・Or アンサンブル	△	◎	◎	○
		吹奏楽Ⅰ	○	◎	◎	△			音楽指導研究	○	◎	○	◎
		音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○			和声法Ⅲ	◎	○	○	△
		音楽理論Ⅰ	◎	○	○	○			楽器店実習	◎	○	-	◎
		音楽史Ⅰ	◎	○	○	○			音楽総合特講Ⅲ	◎	◎	○	○
		ヴォーカルⅠ	○	◎	◎	△			公務員・一般職試験対策Ⅱ	◎	○	△	◎
		ソルフェージュⅠ	◎	◎	△	△			ヴォーカルⅢ	◎	◎	○	○
		音楽心理学	◎	○	△	◎			ソルフェージュⅢ	◎	◎	△	△
	発達心理学	◎	○	△	◎	作譜	◎	△	○	○			
	子どもの保健	◎	○	△	△	スポーツ・レクリエーションⅡ	△	○	○	◎			
	教育原理	◎	○	○	△	和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○			
	音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△	臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△			
	後期	電子オルガンⅡ	○	◎	◎	○	音楽療法・臨床	◎	◎	△	△		
		電子オルガンキャリア実践Ⅱ	○	◎	◎	○	音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎		
		電子オルガン応用実践Ⅱ	◎	◎	○	○	卒業研究Ⅰ	/	/	/	/		
		ピアノ演習Ⅱ	○	◎	◎	○	電子オルガンⅣ	/	/	/	/		
		和声法Ⅱ	◎	○	○	△	電子オルガンキャリア実践Ⅳ	/	/	/	/		
		吹奏楽Ⅱ	○	◎	◎	△	電子オルガン応用実践Ⅳ	/	/	/	/		
		音楽総合特講Ⅱ	◎	○	◎	○	ピアノ演習Ⅳ	/	/	/	/		
		音楽理論Ⅱ	◎	○	○	○	鍵盤楽器研究	○	◎	◎	○		
音楽史Ⅱ		◎	○	○	○	和声法Ⅳ	◎	○	○	△			
ヴォーカルⅡ		○	◎	◎	△	ヴォーカルⅣ	◎	◎	○	○			
ソルフェージュⅡ		◎	◎	△	△	ソルフェージュⅣ	◎	◎	△	△			
スポーツ・レクリエーションⅠ		◎	○	○	◎	ホピュラ音楽史	○	○	○	◎			
音楽療法演習	○	○	◎	◎	スポーツ・レクリエーションⅢ	○	○	○	◎				

音楽療法・基礎	◎	◎	△	△
音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎

和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○
社会福祉	◎	◎	△	○
特別支援教育	◎	○	○	○
臨床実習(事前・事後指導を含む)	◎	△	△	◎
臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	○	○
音楽療法・技法	◎	◎	△	△
音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎
卒業研究Ⅱ				